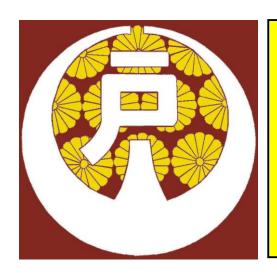
9 校 章 (昭和49年12月に制定)



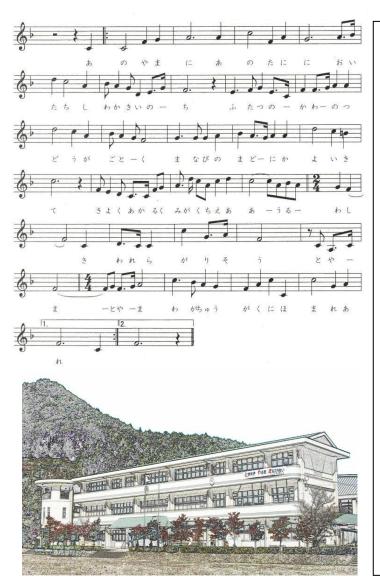
色えんじにて健康、積極性、思いやりの 教育三大目標を表す

「双つの川の集うがごとく」は校歌の一節、カラ臼の音、のどかに四方の山に響く 小鹿田の里から、日田美林の谷あい深く大 将陣山からの清流、合流点が戸山中の位置 なるをデザイン

春の桜に秋の菊、大輪が咲き誇る頃の校 庭は圧巻なり、艶色十色の菊のデザインは、 通い来る生徒達、十町を表す

尾形光紀氏 デザイン

校 歌 (昭和34年に制定)



 作詞
 藤原信

 作曲
 田坂保

- 1 あの山に あの谷に 生い立ちし若き命 双つの川の集うがごとく 学びの窓に通い来て 清く明るく磨く知恵 ああ 麗しき我らが理想 戸山 戸山 我が中学に栄誉あれ
- 2 その風に その水に 湧き起こる若き力 英彦の峰の聳ゆるごとく 学びの庭に挙り立ち 強く雄々しく鍛う腕 ああ 逞しき我らが歩調 戸山 戸山 我が中学に光あれ
- 3 この里に この土に 照り映ゆる若き希望 豊けき稲の実るがごとく 学びの園に励み合い 直く正しく誓う胸 ああ 麗しき我らが使命 戸山 戸山 我が中学に歴史あれ